

お知らせ

INFORMATION

No.2013-32

2013 年 11 月

病体生理研究所

検体の保存方法の変更について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当研究所をご利用下さいまして誠に有難うございます。

この度、下記項目につきまして蓄尿時の保存方法を『添加剤』を利用した方法に変更させて頂くことになりましたのでご案内いたします。

何卒、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

【変更内容】

- ◆ 蓄尿時の保存方法の変更（次頁参照）

【対象項目】

- ◆ 尿中カテコールアミン（総） [10251]
- ◆ 尿中カテコールアミン 3 分画 [10961]
- ◆ VMA（定量）（バニールマンデル酸） [10261]
- ◆ メタネフリン分画 [10429]
- ◆ HVA（ホモバニリン酸） [10265]
- ◆ 5-HIAA [10414]
- ◆ 総メタネフリン（蓄尿） [11094]

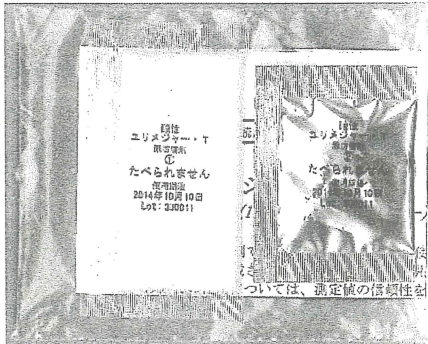
《変更日》 2013 年 12 月 6 日（金）受付分より

【変更対象項目】

検査項目〔コード〕	変更 内容	新	従来
尿中カテコールアミン (総) 〔10251〕	検体 保存 条件	注① 所定用量の『専用蓄尿添加剤 (ユリメジャー・T ※)』 を入れた蓄尿瓶に尿を 24 時 間蓄尿し、よく混和後必要量 をご提出ください。酸性蓄尿 (pH1.0~3.0) されていない ものはデータに影響がみら れますので、必ず専用蓄尿添 加剤を入れてください。 ※ 尚、従来通り『塩酸蓄尿』 に於いても測定可能で す。	注① あらかじめ、6N 塩酸約 20 mLを入れた蓄尿瓶の中に2 4時間蓄尿し、よく混和後必 要量をご提出ください。な お、尿量があらかじめ少ない と予想される場合には、尿 100mL に対して 6N 塩酸 1mL の割合で入れてくださ い。酸性蓄尿されていないも のはデータ低下が見られま すので必ず酸性蓄尿 (pH1.0~3.0)してください。 P.27
尿中カテコールアミン 3 分画 〔10961〕			
VMA (定量) (バニールマンデル酸) 〔10261〕			
メタネフリン分画 〔10429〕			
HVA(ホモバニリン酸) 〔10265〕			
5-HIAA 〔10414〕			
総メタネフリン (蓄尿) 〔11094〕 未掲載			

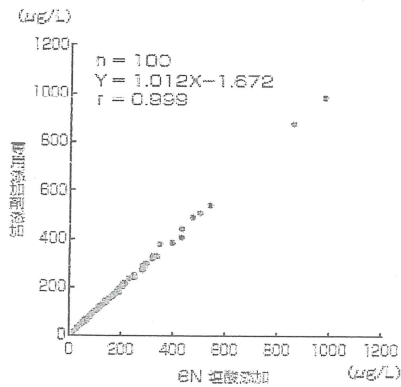
※ 上記以外の項目との重複依頼はお避け下さい。

【専用蓄尿添加剤について】

※ ユリメジャー・T (尿防腐剤①、②、使用説明書) 	* 物品注文名称『ユリメジャー・T』(ユリメジャー・タブレット)としてご注文下さい。 * 使用期限、包装に記載。
---	---

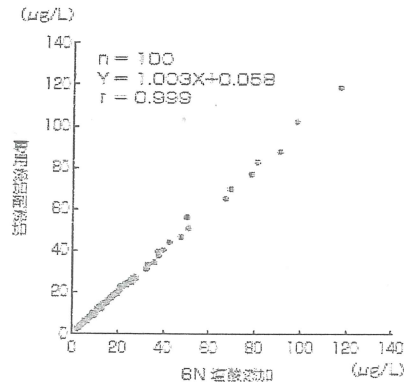
*専用添加剤でのデータ比較

カテコールアミン総



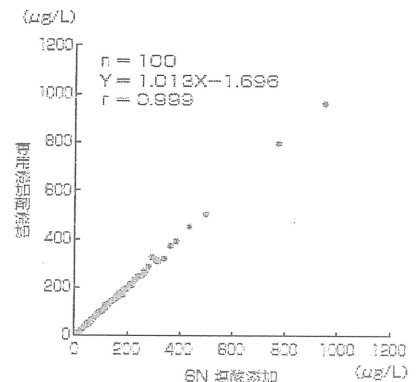
カテコールアミン3分画(尿中)

①アドレナリン

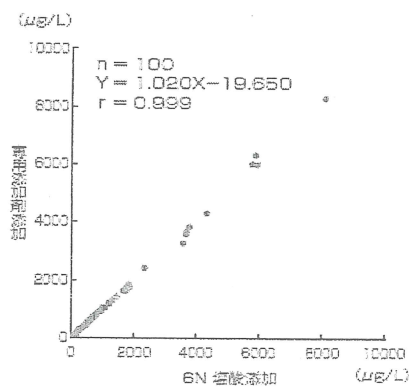


カテコールアミン3分画(尿中)

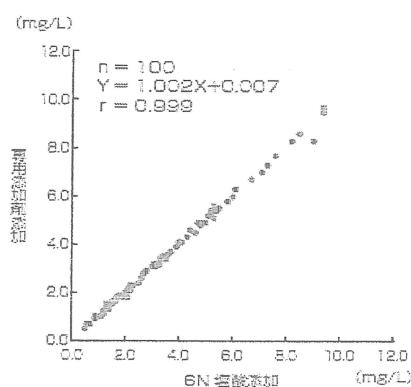
②ノルアドレナリン



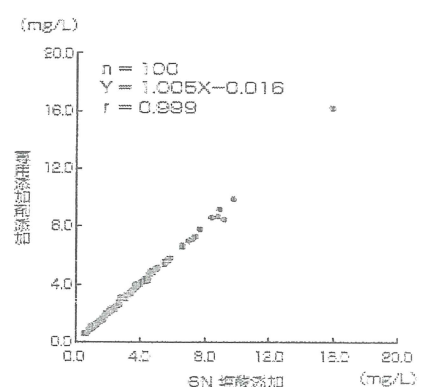
カテコールアミン3分画(尿中)
③ドーパミン



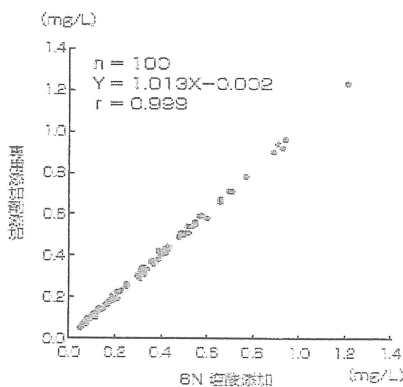
VMA(尿中)



HVA(尿中)

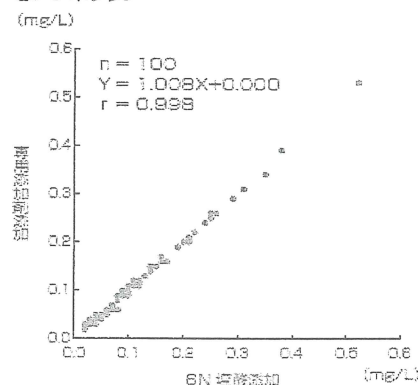


メタネフリン総



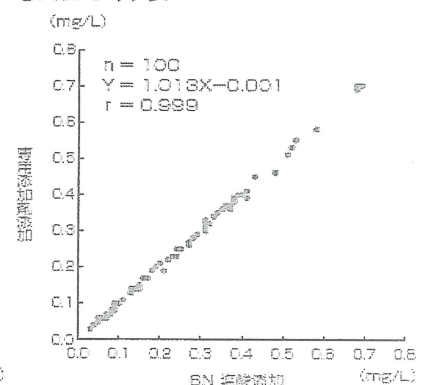
メタネフリン2分画

①メタネフリン

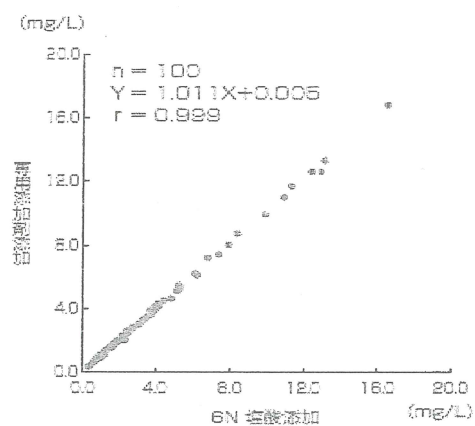


メタネフリン2分画

②ノルメタネフリン



5-HIAA(尿中)



以上